

坂井木部地区まちづくり協議会広報紙

みのりの郷

2021
秋号
令和3年

美しい田園風景と思いやりのあるまち坂井木部



笑顔いっぱい坂井木部

INDEX

木部の鬼退治期間イベント
田園花火で鬼退治、夢風船、きべ丸&ベッキーめぐりえ展示
ふるさと花壇づくりと親子寄せ植え体験
スティックリング大会
チャレンジ防災合宿
敬老慶品お届け
米作りと農村文化の伝承事業
見守り活動
ふれあい食堂「きべ丸」
連載：知ってもっと好きになる私たちのまち坂井木部



坂井木部地区まちづくり協議会HP
<https://kibemaru.jimdofree.com/>



子どもを中心に... コロナが早く終息して、子どもたちがいるんな所へ行き、多くの物を見て、経験して、もっともっと大きな夢や希望を抱いてほしいと風船に願いました。



木部小学校の運動会終了後、同グラウンドにてメッセージカードを結んだ色とりどりの220個の「夢風船」を大空に飛ばしました。

木部の鬼退治 期間イベント

9月19日～10月19日



木部地区に伝わる鬼退治伝説によると延暦寺の7人のお坊さんによる祈りは9月19日から始まり10月9日に鬼退治できたとされています。



昨年「早くコロナが終息し、子供や区民の皆さんが元気になるってほしい」という願いを込めた田園花火が、木部地区の夜空を彩りました。

七時半、木部地区の田んぼの真ん中で約300発の花火が盛大に打ち上げられました。目の覚めるような大輪の花やかわいいハート型など花火が上がるたびに大歓声「今年もよかったわ!」最後の1分はすごかった!との声を地区内外からたくさんいただきました。



きべ丸&ベッキーめりえ展示

木部の子どもたちが笑顔でコロナ鬼を吹っ飛ばして、くれそう、とても心強いと思いをこめて描きました。

子どもたちはカラフルな色できべ丸たちを塗ったり上手に似顔絵を描いてきてくれたりと、コミセンの玄関は可愛い雰囲気になりました。



協賛金にご協力をいただいたきありがとうございました

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---------|--------|---------|-------|-------|
| 坪田 智美 | 坪田 義子 | 常中 香澄 | 田川 ひろみ | 武川 英史 | 武川 志帆 | 武川 英子 | 高田 康佑 | 高田 祐大 | 高嶋 晃大 | 高嶋 智博 | 陶山 治男 | 清水 俊雄 | 清水 泰世 | 島田 吉博 | 重森 康一 | 齊藤 椿 | 齊藤 樹 | 栗原 幸治 | 栗原 泰道 | 小川 茂治 | 小川 五月 | 岡本 紀和 | 大木 久美子 | 大木 伊知郎 | 浦井 帆乃花 | 伊藤 一太郎 | 石丸 衛 | 石川 三郎 | 石川 伊左エ門 | 五十嵐 直樹 | 五十嵐 ひろみ | 友田 敏也 | 土肥 竜将 |
| 匿名希望 | 吉川 裕和 | 吉川 博和 | 吉川 昇 | 吉川 仁兵衛 | 吉川 元 | 吉川 景子 | 吉川 和男 | 吉川 誓治 | 由川 賢司 | 八十嶋 正 | 門馬 聡 | 宮北 輝昭 | 道場 慶一 | 松ヶ下 喜久雄 | 正藤 露子 | 正藤 正典 | 牧野 慎一 | 牧野 憲一 | 保珍 憲男 | 古市 浩昭 | 古市 俊昭 | 古市 恵太 | 船谷 重綱 | 藤谷 せつ子 | 藤谷 重夫 | 廣部 義治 | 廣部 由紀子 | 廣部 範夫 | 友田 敏也 | 友田 竜将 | 土肥 望美 | | |

協賛企業・団体・個人名 (50音順・敬称略)

- 鬼辺太鼓保存会 (株)ef
- (株)平成ケーワイ代表取締役 吉川浩司
- 木部小学校PTA
- 木部新保青空会
- 木部新保区生産組合
- 清永保護者の会
- 清令会
- 坂井市役所木部地区職員互助会
- 十・十一店
- 朱雀
- すずらん保育園
- タカシン家具工業株式会社
- タカス建築板金
- 電化のクマガイ
- 友吉製粉製麺
- 豊島建設(株)
- 農事組合法人ひとつぶの里
- 藤谷建築
- (有)末広縫製
- (有)高島土建
- (有)高橋金型製作所
- ユカ美容室(大木)
- 理美容マエガワ
- 嶺北消防組合坂井第15分団
- 若重食堂
- 匿名希望
- 1団体

敬老祝品お届け



今年にはコロナ禍のため止む無く敬老会開催は控え、地区の区長さんや福祉委員が75歳以上の313名にマスクやお菓子等のお祝いの品を一人おひとりにお届けしました。93歳の高倉シズ子さんは、「もう敬老会には行かれんけどこないも元気でいたい」と感謝の言葉を述べていました。

来年はみんなが集える『敬老会』を開催したいですね。



米作りと農村文化の伝承事業



平成21年から始まった「昔ながらの米作り体験事業」は、子ども達の故郷を愛する心を育てるためにまち協と地域の人が小学校4、5年生を対象に実施。5月にはお米の勉強会、田植え、生育調査、9月には稲刈り、ハサ掛け、10月には脱穀と、田植えからもち米になるまでの一連の作業を昔ながらの方法で体験しました。ある児童は「米作りがこんなに大変ということが分かった」「昔の人はいろんな知恵を出して米作りをしたんだなあ」と感想。11月20日には収穫したもち米を使って自分たちで「笹餅」をつくり全校児童に振舞いました。

見守り活動



あんしん防災部会では小学生が安全に登校できるよう早朝見守り活動を行っています。子どもたちに「おはよう！車に気を付けてね」と声をかけています。

ふれあい食堂「きべ丸」開設

昨今、各地で地域のボランティアが行う「子ども食堂」が開設されています。木部地区でも今年8月から2ヶ月に1回のペースでふれあい食堂「きべ丸」を開設することにになりました。10月24日はコロナ禍のため、弁当を配布。郷土料理『ごんざ』に使ったうち豆体験に挑戦。今後は、食事をしながら地域住民の交流する場として発展させていきたいと思っております。その時にはどうぞご利用ください。



ふるさと花壇づくりと親子寄せ植え体験 令和3年6月20日(日)



かんきょう美化部会では、例年コミセン前のふるさと花壇で夏・秋と冬・春の年2回の花苗の植え付けと管理をしています。

今年は、少しでもこの活動を知っていただくため親子の参加者を募集し、部会員と共にジニア、サルビア、マリゴールドなどを植えました。その後、6組の親子はそれぞれ好きな花を選んで寄せ植え作りを行い、嬉しそうに持ち帰りました。親子で仲良く取り組んでいるのが印象的でした。

スティックリング大会 令和3年6月27日(日)



木部小学校体育館を会場に、9チーム27名が和気あいあいの中にも熱戦を繰り広げ、心地良い汗を流しました。

スティックリングは小学校低学年でもコツさえつかめばできるので、親子のチームもあり楽しそうにプレーしていました。結果は、優勝が木部新保Aチーム、2位が木部新保Bチーム、3位がマロンチームでした。おめでとうございます。



チャレンジ防災合宿 令和3年7月2日~3日(金・土)

自然災害が多発している近年小学生のうちに防災について学んでもらおうと、まち協や小学校PTAが中心となって開催しました。

6年生17名が参加し、体育館にテントや段ボールベッドの設置、ハザードマップの学習、ハイズックスでカレー作り、翌朝は空き缶でご飯炊き(サバメシ)を体験。児童は「災害の時のために心と物の準備が大切だと思った」「家族で話し合っ防災グッズを揃えようと思った」と感想を述べていました。



◎木部の村々 その4

坂井木部地区の集落の歴史や伝説について4回目の掲載です。
今回は島・東荒井です。

〈島〉島集落は古代遺跡の発見から古墳時代の発生と考えられるが、その頃付近が泥沼であったり、坂井平野の最低地域を主体とする氾濫地域であったから、島とよばれたと思われる。

現在も島の田地は清永の田地に取り囲まれて島状になっている。字「砂田」という地名があるが、その一帯では地下に砂だまりがあり福井地震の時にはあちこちで砂が噴き出したという。

集落の発展は、江戸初期、北兵庫（下兵庫村）の岡崎武兵衛家から分家した岡崎九左衛門が島に移り住み沼地を開発したといわれている。「越前地理指南」には島村には深田が多いと記述があり、原野が広がって鷹狩りに適した場所でもあったようだ。

集落の東に春日神社があり、その境内には地元では「アイバの神」と呼ばれ百姓の神として崇められていた石祠がある。約400年前から伝わる祭事で、2月4日（現在は1月4日）にご神体二体に、それぞれ直径20センチ（1個1升）のおにぎり2個と4つ割りにした大根を供えて、豊作を祈願する。供えたおにぎりが野鳥や猫などに食べられ、早くなくなると、その年豊作になるといわれている。



〈東荒井〉兵庫川西岸の自然堤防上に発達した集落。弘安期（1278〜1288年）の興福寺領河口庄兵庫郷名寄帳に地名がみられ、天正3年（1575）の柴田勝家による定書や慶長3年の太閤検地帳の表紙に「川端村」とある。兵庫川筋の川端に集落があったので川端村と呼ばれ、下流に田畑が開かれる際に移転したと伝えられている。江戸期から明治初めまでは荒井村と称し、明治14年県内の同一村名と区別するため、「山荒井」「西荒井」に対し「東荒井」と改めた。なお「アライ」とは新しく開発された居住地を意味する。



平成8年の区内東側道路拡張工事の際には東荒井遺跡が発見され弥生時代後半の土器を中心として玉作関係工具などが出土している。集落の東のある春日神社は河口庄十郷十社の一つとされかつては広大な敷地の七堂伽藍が建っていたと伝えられている。神社にはご神体として鎌倉時代の作とされる阿弥陀如来像が安置されている。漆塗りで黒く輝いているので黒仏とも言われ、昭和48年に坂井町内唯一の県有形文化財に指定されている。境内には寛永4年の白山神社祠がある。大正2年に、雅楽保存会の東荒井鳳雲社が設立され、今も地区の人々によって受け継がれている。

〈出典〉木部村誌・坂井町誌

お知らせ

- ★第16回坂井市花壇コンクール受賞
 - 【優秀賞】坂井木部地区まちづくり協議会 かんきょう美化部会
 - 【優良賞】木部新保区青空会
 - 【努力賞】清永あおぞらクラブ

★まちづくり協議会 部会員募集！

まちづくり協議会は区民全員が会員です。次の5つの部会員になって一緒に活動しませんか。いつでも参加OKです。

- あんしん防災部会
- ふるさと交流部会
- かんきょう美化部会
- すこやか福祉部会
- ぶんか教育部会

坂井木部地区のようす

令和3年10月1日現在
()内は前年比

人口	: 1708人 (-31)
男	: 809人 (-21)
女	: 898人 (-10)
世帯数	: 520戸 (+2)
小学生数	: 94人 ()



編集後記

コロナ禍で多くの行事が制約を受ける中、2年連続の打上花火で区民に元気を届けました。徐々に平常生活に戻りつつありますが、今後もコロナ感染予防をしながら皆様のお役に立てる活動に取り組んでいきたいと思ひます。(Y.H)

発行

2021.11.20

坂井木部地区まちづくり協議会 広報委員会
〒919-0532 坂井市坂井町高柳117-9
坂井木部コミュニティーセンター内
TEL 0776-72-0007 FAX 0776-72-3009
e-mail : skibe-p@mx3.fctv.ne.jp
HP : https://kibemaru.jimdofree.com/